

WISY フィルターコレクタータイプ FS 及び GS 導入ガイド

注意！雨水利用に適さない屋根

アスベストを利用した屋根及び汚れのひどい屋根に本製品を利用すべきではありません。



はじめに

本製品は、ステンレスで出来ており、腐食及び霜に強く、簡単に縦樋に接続できるコンパクトな設計となっております。

(外側容器が銅製のものもありますが、特別にご注文をいただかない限り、日本(WISY JP)では取り扱っておりません。)

本製品は、最新の技術により、万全を期して製造されていますが、もし、不適合品があれば、交換させていただきます。ただし、お客様による不適切なご利用、もしくは不注意による破損の場合は交換の対象外となります。

適応範囲

このフィルターは、雨縦樋に直接接続されるために設計されています。

据え付け及び利用方法

本製品は、屋根からの雨水を処理対象とし、ステンレス網により落ち葉、虫、泥等を水から分離することを目的としています。

ステンレス網の網目サイズは、トイレの洗浄水等の目的に利用するために、0.28 mmを採用しています。(ガーディングタイプ GS については0.44 mmを採用。)

本製品は、縦樋のスペースを狭めないように設計(WISY社特許技術)されています。この点が特に重要で、大雨の際にフィルターが水流

を阻害することはありません。(水があふれ出すフィルターが多い)本製品は通常の降水で90%以上の屋根からの雨水を集めるとともに、強い降雨時でも50%の水を集めることができます。

導入方法

縦樋を切断します。縦樋の継ぎ手、取付金具等から離れた位置、上、下 5 cm 以上は確保してください。(10 cm 以上が望ましい。切断前にパイプにテープを巻いと

表 1 : 1 切断する長さ

タイプ	縦樋	切断する長さ
FS100	100	32cm
FS90	75mm	30cm
GS90	75mm	23cm
FS(60mm 用アダプター)	60mm	44cm
GS(60mm 用アダプター)	60mm	37cm

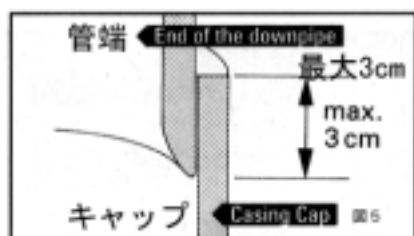


パイプを水平に切断できます。

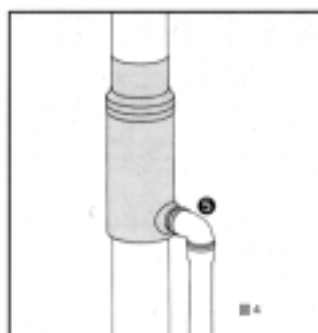
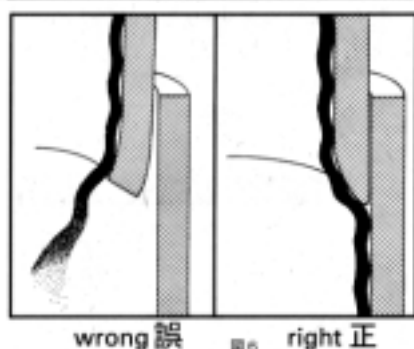


次にカットした管の断面を左図のように、水が外側に広がるようにカットしてください。この点が非常に重要です。必ず実施してください。切りくず、ささくれが、残らないように丁寧に仕上げてください。

次に図 3 のとおりケーシングキャップ (60mm に接続する場合アダプター) を管に挿入後、上方にずらしておき、フィルター本体をセットします。次にケーシングキャップを降ろし、フィルター本体としっかり固定します。なお、フィルターを接着剤等で固定しないで下さい。



濾過水をタンクへ導くアウトレット部分に直径 50 mm のパイプを接続してください。この際、ゴムのパッキング等を付けて水が漏れないように配慮してください。フィルターから円滑に雨水を導くために下図のようなエルボ - を付けることをおすすめします。





管取付金具とケーシングキャップ（アダプター）とは5 cm 以上は開けてください。（10 cm 以上が望ましい）これは、フィルターを着脱する際にキャップを上方にずらすために必要です。

上記の方法でセットした場合、管とケーシングキャップ（もしくはアダプター）とは3 cm 重なることになり、フィルターの下側の部分に3 cm 管が食い込むことになります。

維持管理

メンテナンスは非常に少なく、自洗式であるところが本製品の特徴です。それでも、屋根の状態、屋根の質、地域特性等によって異なりますが、通常は、年に2回程度洗浄してください。

洗浄方法は、フィルターエレメントを取り出し、メッシュの外側から内側へホース等で強く水をかけてください。（注意：金属製ブラシを使用するとフィルターを痛めます。）

重要！！

設置の際、屋根に近いエルボ一部分で樋が抜けてしまうことがあります。樋をずらさないよう、着脱時にはしっかり樋を押えてください。

